

秋の味覚、新鮮野菜が集合

滝山公園で滝山不動市を開催



野菜などを買い求める人らで活気あふれる



多くの新鮮な野菜が並ぶ

10月11日、滝山公園（中菅）で滝山不動市が開催されました。

これは、中菅地区の高齢者に「生きがい」を持ち「健康で長生き」を目標に毎日を楽しく過ごしてもらおうと「天郷坂に集まる会（坪倉敏代表）」が町の地域活動支援交付金を活用し初めて実施したものです。

当日は、地元の人が収穫した野菜や花などが並べられ、開始前から多くの人が訪れました。来場者は、ネギやトマトなどの新鮮な野菜のほか、この秋に収穫されたばかりの新米やキノコを買い求めていました。

そのほか、手打ちそばの実演販売や石焼き芋の試食なども行われ、晴れ渡った秋空の下、来場者や出店者らの活気や笑顔であふれていました。

天郷坂に集まる会では、今後も中菅にある元ベアリング工場建屋を利用して、野菜や花の販売を行っていくほか、工場建屋を自転車・オートバイ愛好者のたまり場としてすでに開設しており、地域に活気や元気な姿があふれていくことが期待されます。

“いつまでもお元気で” 長寿をお祝い

黒坂・菅福地区「手づくり」の敬老会



おいしい料理を囲み会話が弾む

10月12日、町公民館で、黒坂コミュニティ推進協議会（中原明会長）主催の手作り敬老会が開かれました。

当日は、黒坂・菅福地区の75歳以上の高齢者76人が出席し、日翔会によるソーラン節の披露や歌謡ショーなどのおもてなしを受けました。

また、長寿と健康を祝い弁当が振る舞われたほか、お楽しみ抽選会も行われ、出席者は余興や会話など、楽しいひとときを過ごしました。

待ちに待った秋の収穫

保育所と津地自治会が

サツマイモ掘り交流



たくさんとれたね「おっきい！」

10月16日、津地市内の畑でひのっこ保育所と津地自治会とのサツマイモ掘り交流会が行われました。

この日は晴天に恵まれ、保育所から39人の園児が参加。6月に一緒に植えた300本のサツマイモを津地自治会の皆さんと収穫していききました。

子どもたちは「いっぱい」「おっきい」など、歓声を上げながら、サツマイモを掘り起こしていきましました。

サツマイモ掘りの後は、みんな焼き芋を食べたほか、持参した袋いっぱいサツマイモを持ち帰り、大満足の収穫祭となりました。



体力づくり・健康増進を図る 日野町駅伝競走大会



ゴールまであと少し、最後の力をふりしぼる



沿道からの声援を受けながら元気いっぱいスタート

根雨のまちなかを友人や学校、職場の仲間たちとタスキをつなぎゴールを目指す、第55回体力づくり日野町駅伝競走大会が、10月18日、役場前駐車を発着で開かれました。

当日は、役場から根雨3区を折り返す（1キ）、小学生ミニマラソン低学年の部に9人、役場から根雨1区を折り返す（1・8キ）、小学生高学年の部に22人が出場。駅伝の部には、地域や事業所などから7チーム、中学生から2チーム、高校生から3チームが出場し、健脚を競いました。雲一つない青空の下、沿道からの家族や友人、職場の仲間たち、地域の人が送る声援を受けながら、選手はゴールを目指し走り抜けました。

【結果】※優勝者・チームのみ

▼ミニマラソン

（小学生低学年の部・1キ）

男子Ⅱ宮田英治さん（4分38秒）

女子Ⅱ宮脇彩華さん（5分0秒）

（小学生高学年の部・1・8キ）

男子Ⅱ宮脇天馬さん（7分31秒）

女子Ⅱ景山杏海さん（7分40秒）

▼駅伝（1チーム3人・1人2キ）

一般の部Ⅱ走るなかまたち

高校生の部Ⅱ日野高校陸上野球部A

中学生の部Ⅱ日南中陸上部

女子の部Ⅱ日野高校バレーボール部

俳句列車、日野路を走る

第6回ひの俳句大会開催

10月19日、秋恒例の第6回ひの俳句大会（「日野町を俳句の里に」実行委員会主催）が開かれました。今回は3部で構成され、第1部はJRの協力により臨時列車『奥日野俳句号』が米子駅から黒坂駅まで運行され、参加者30数名が車窓風景を句に詠むという趣向で行われました。第2部は、黒坂駅から2台のバスに分乗し、鵜の池と下黒坂地区を散策・吟行しました。そして第3部では、リバーサイドひの移動し、町内からの参加者も合流。車窓句と吟行句に加え、あらかじめ作ってきた題材自由句を提出して優秀句を選



車窓風景を眺め、思いを巡らす参加者

出・表彰が行われ、入賞者14人には、日野町産の野菜詰め合わせセットが送られました。

参加者の中には、新聞社の俳句投稿の選者もみられ、「俳句大会には一度来てみたいと思っていた」と楽しんでる様子でした。また、「来年は春と秋に開催してほしい」といった声も聞かれました。この日発表された俳句の数は240句、この模様はテレビでも放送されたほか、後日作品集としても刊行されるそうです。

俳句、そして秋の日野路を満喫した1日となりました。

【主な入選句】

▼車窓句の部 特選第一席

空き高く峡の深さを車窓にも
（中前淳子さん・湯梨浜町）

峡の汽車触るるばかりの薄かな
（小谷里子さん・南部町）

▼吟行句の部
余所者に杣人やさし秋ざくら
（岩水節子さん・米子市）

山影に出ては入りて鴛鴦百羽
（奥田節世さん・米子市）

▼題材自由句の部

焼箸を二つにわって一人かな
（松田久江さん・米子市）

橋をもつなぐ集落鳥渡る
（景山みどりさん・境港市）